学校番号	2002

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校生の美術３　（日本文教出版）						
副教材等	ワークシート、プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・創造的な造形力を育む態度を身につけましょう。
・自分の個性や美的感性を磨くと同時に、他者の表現に共感する態度を磨きましょう。
・用具や素材の取り扱いを正しく理解し、安全に気をつけて授業を受けましょう。
・課題作品は最後までやり遂げ、完成させて提出しましょう。
・授業のポイントや自身で気付いたことなどをメモしていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きについて考え、主題を生成し創造的に発想したり構想を練ったり価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに感性を高め、美術文化に親しみ心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	画材、用具の扱いについて正しく理解し、表現活動に際し理にかなった取り扱いができる。	テーマや目的に応じて物事を多面的に考察し、創造的に造形する力、適切な手法技法を選択することができる。	色彩や構図法など学んだ表現技法や理論を活用しようとする態度、他者の作品に対して論拠のある共感や評価をしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	【デザイン】文化祭のカードのデザイン	文化祭のカードデザイン 「auPAY カードのデザイン」	a: テーマの意図やねらいを考えて表現することに関心をもつ。テーマを理解し、それを主体的に構想に生かすことができる。色彩表現に創意工夫ができる。 b:テーマからイメージを広げ、そこから連想される事物の情景や、そのイメージに相応しい象徴的な配色が発想できている。 c: 目的や意図に応じ、特性や効果を生かして表現している。	ワークシート アイデア スケッチ 作品	ワークシート アイデア スケッチ 作品	ワークシート アイデア スケッチ 作品 学習状況の観察
2学期	夏季休暇鑑賞課題	高校展の作品鑑賞	a: 作品のよさや、作者の心情や意図と多様な表現に関心を持ち、作品について理解しようとしている。 b:同上 c: 作品のよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、その感想を的確に表現できる。	鑑賞 レポート	鑑賞 レポート	鑑賞 レポート
	【絵画】絵画の役割	・油絵の制作「自由課題」 ・作品鑑賞	a: さまざまな表現技法の造形的要素で感じ取ったことや考えたことに関心が持てる。技法に関心をもち表現できる。技法や材料、用具の特性を理解し、目的や意図に応じて、特性や効果を生かして表現している。 b: 感じたことや考えたことから主題を生成し、主題を効果的に表現するために構図などの画面上のバランスを工夫できる。 c: 他者の作品の表現の工夫を理解し、そのよさや美しさを味わっている。	ワークシート 課題作品	ワークシート 課題作品	ワークシート 課題作品 鑑賞 レポート 学習状況の観察

3学期	【デザイン】マイルーム	・MY ROOM 何年後かに自分が使いたい部屋をデザインする ・作品鑑賞	a: 様々な家具や照明、内装に興味を持ち、作品を造形的に表現することに関心を持っている。主体的に主題を生成し、形や色彩などの造形的要素の働きを考え創意工夫して構想が練れる。特性を理解し、テーマに応じて特性や効果を生かして表現している。 b: テーマに沿って造形的なおもしろさと調和を考え主題を生成している。 c: 他者の作品の表現の意図や工夫を理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	ワークシート アイデアスケッチ 作品	ワークシート アイデアスケッチ 作品	ワークシート アイデアスケッチ 作品 鑑賞レポート 学習状況の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度